

土浦市の現状

人口減少

財源不足

土浦ならではの魅力

コロナ禍での変化

Stay home

在宅勤務・テレワークの普及

Stay with 土浦

～「With コロナ」の時代における新しいまちづくり～

- ①幅広い世代が住みたい・過ごしたいと思えるまち
- ②土浦の魅力が身近に感じられ、誇りに思えるまち

安心・安全に暮らせるまち

安全性

利便性
快適性

誰もが移動しやすく、使いやすいまち

土浦ならではの魅力を感じられるまち

つつうらしさ

コミュニティ
産業促進

人々が交流しあい、働きやすいまち

ロケツーリズム構想

【ロケツーリズムの目的は地域愛着の向上】

※映画・ドラマのロケ地を訪ね風景と食を堪能し、人々のおもてなしに触れ、その地域のファンになってもらうこと。

ロケ誘致

撮影サポート

魅力の浸透

土浦フィルム
コミッション

提案

① 認知度アップのイベント開催

② 深く知るためのサイト流入

③ 実際に行くロケ地マップ配布

④ 誰かに共有したくなるまちなかパネル



Stay with 土浦

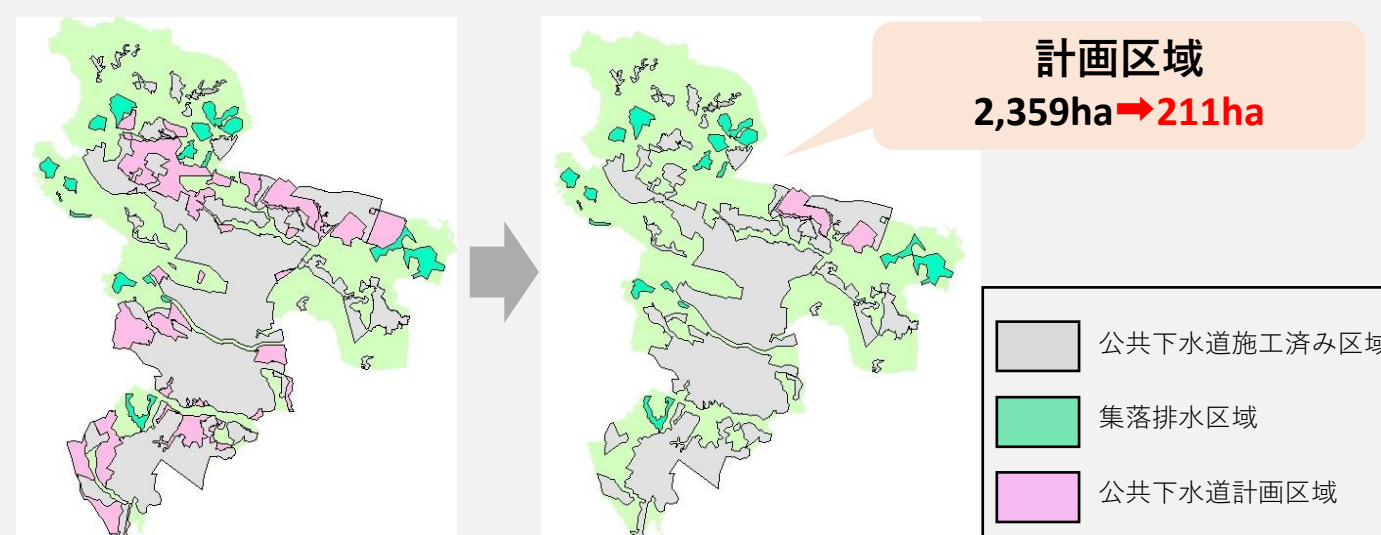


都市計画マスタープラン実習 2 班

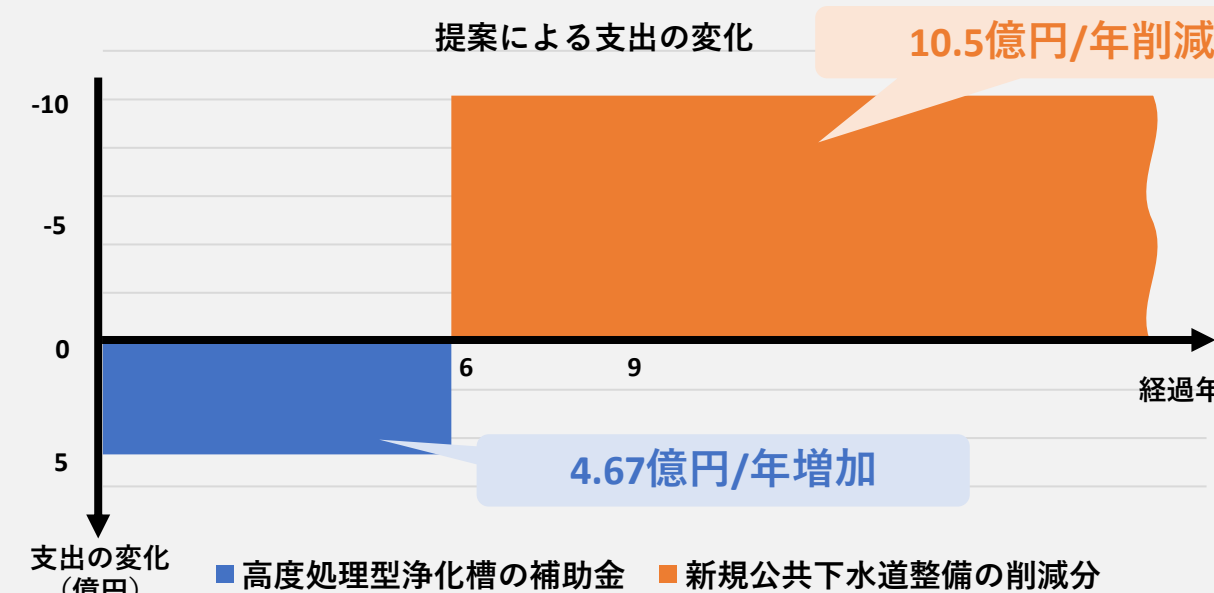
班長 : 大森聡
副班長 : 岩田剛弥
下妻康平 小笹愛実
堀口達葵 山崎海
TA : 杉田光

下水道再編構想

市街化調整区域の下水処理を
高度処理型浄化槽で行う



公共下水道の新規整備費を削減



土浦：行政・業務地区

中心市街地ウォークブル構想

ゾンプランニング（ネットワークの）形成

→社会的・経済的結節点を設け、
結節点同士を動線で結ぶ

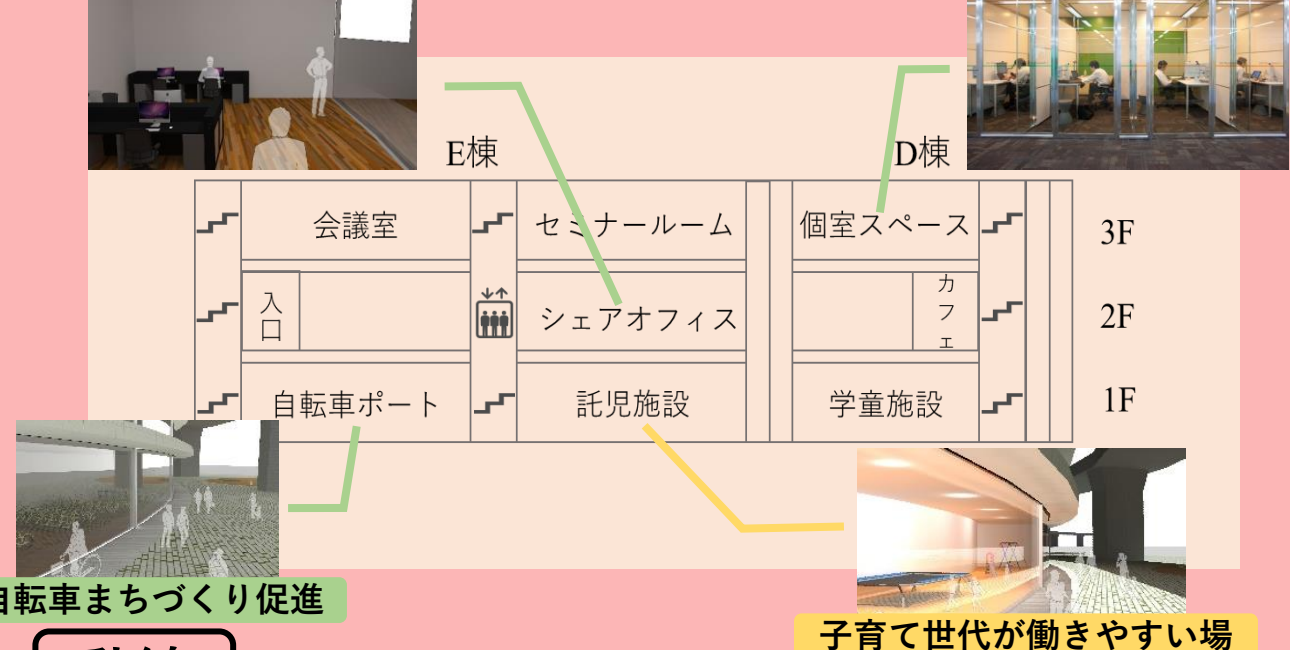
地域住民が集う日常的な賑わいの創出
人々が周遊しやすくなる仕組みを作る

結節点

子育てオフィス505構想

開けたシェアオフィス

オンライン会議に対応



動線

中古自転車シェアサイクル構想



既存の
レンタサイクル
設置場所

居住者が
日常的に
利用する場所
※住民調査が必要

動線の確保、中心市街地の自転車利用の普及
自転車の日常利用の促進、放置自転車の問題解決

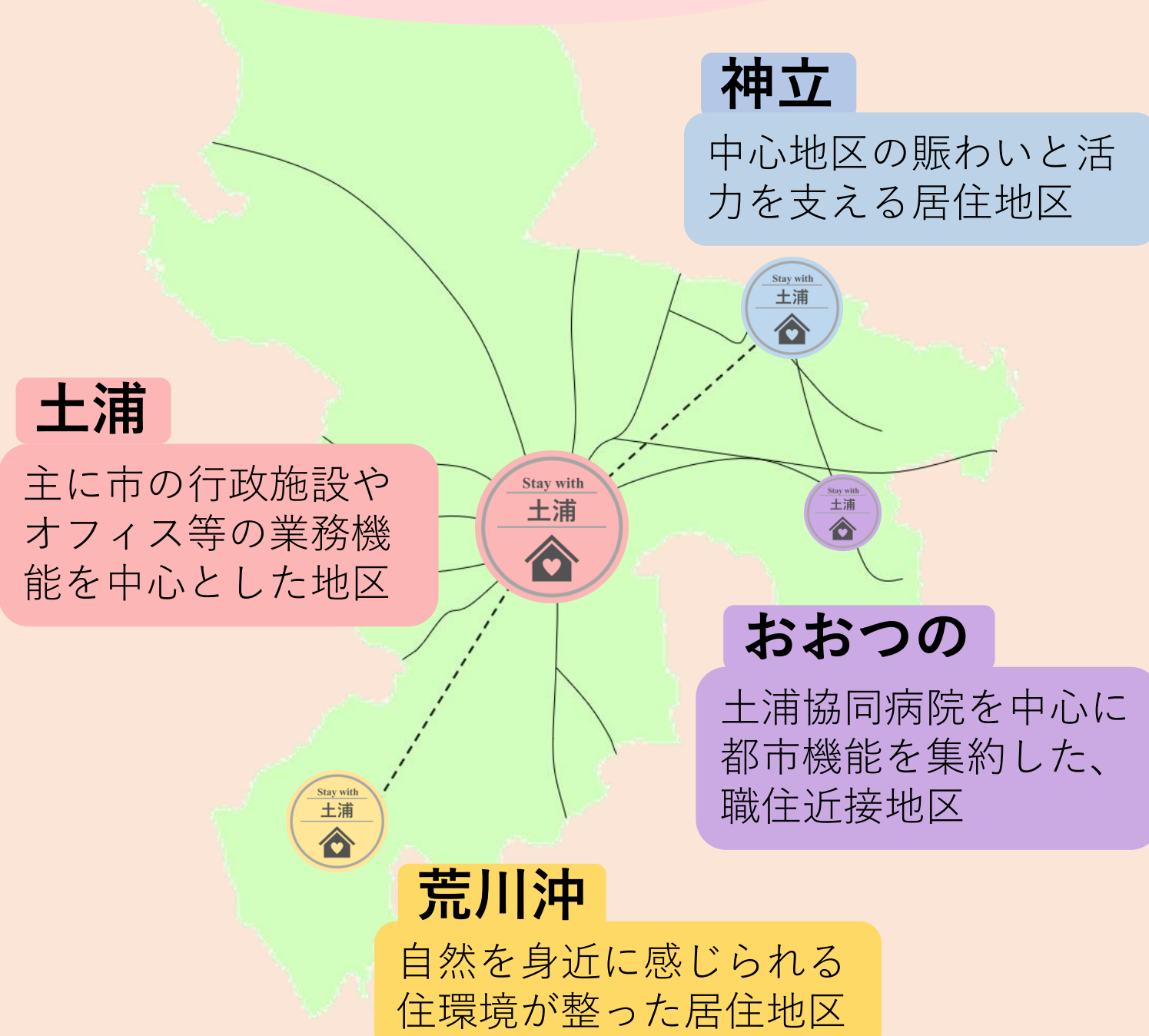
拠点居住誘導構想

市民向け居住誘導補助金

拠点	形態	賃貸	購入	住宅転用
土浦中心地区		月額家賃の 1/2以内 ^[1]	住宅ローンの 3% ^[4]	工事に係る 経費の1/2 ^[4]
神立・荒川沖		月額家賃の 1/3以内 ^[2]	住宅ローンの 3% ^[5]	工事に係る 経費の1/2 ^[5]
おおつ野		月額家賃の 1/4以内 ^[3]	住宅ローンの 3% ^[5]	工事に係る 経費の1/2 ^[5]

土浦市外の移住者だけでなく市内の拠点区
域外に住んでいる方も拠点地区へ居住誘導

4つの拠点に集約し
コンパクトなまちへ



土浦

主に市の行政施設や
オフィス等の業務機
能を中心とした地区

神立

中心地区の賑わいと活
力を支える居住地区

おおつの

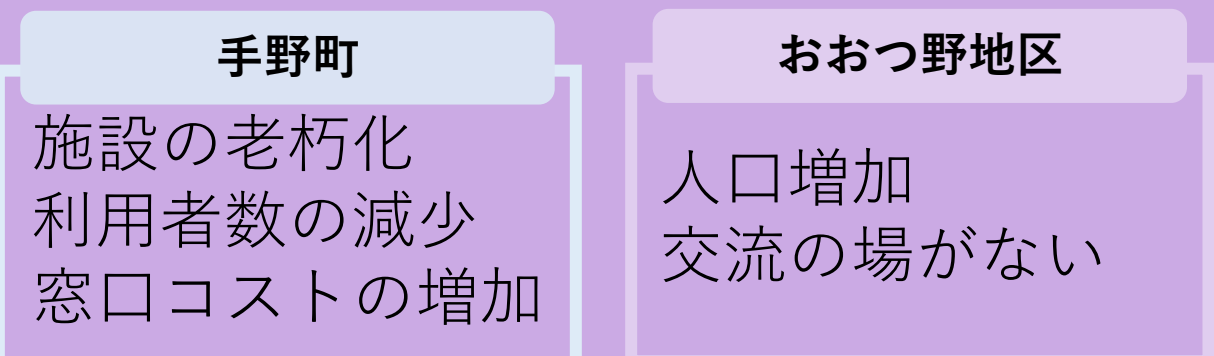
土浦協同病院を中心に
都市機能を集約した、
職住近接地区

荒川沖

自然を身近に感じられる
住環境が整った居住地区

おおつ野：医療拠点

おおつ野地区公共施設集約



おおつの地区へ公共施設を移転・集約

支所と公民館が併設した
複合コミュニティ施設を新設

費用：約2.2億円

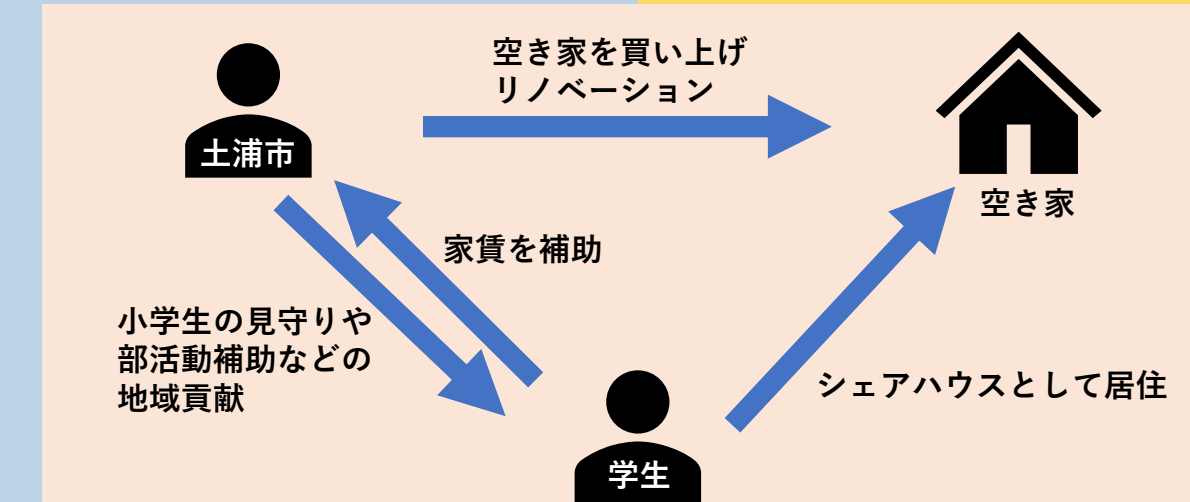
下水道再編構想で
削減した
費用を利用



おおつの地区を安全で住みやすい
メディカルタウンへ

神立・荒川沖：居住地区

空き家学生向けシェアハウス



空き家を活用して地域活性化